

第642回番組審議会報告

2019年10月1日開催

■出席委員

佐藤卓己委員長 佐藤友美子副委員長 今井美樹委員 島田智委員
太平信恵委員 津村記久子委員 東野博昭委員 細見良行委員

■毎日放送出席者

三村社長 梅本専務 木田常務 宮田常務 浜田取締役 岡田取締役
高山取締役 小林ラジオ局長 松本編成局長
高山コンプライアンス室長 菅野番組審議会事務局長

◆報告事項

- (1)ラジオ・テレビの10月改編の概要について、ラジオ局長と編成局長がそれぞれ報告した。
- (2)放送番組種別の公表制度に基づき、2019年度上期（4月～9月）の番組種別ごとの放送時間を編成局長が報告した。あわせて同期間のCM総量および10月以降の基本番組表についても報告した。

◆審議事項

テレビの「全国ネット番組」（主に2019年度上期の番組）について意見交換した。

【各委員の主な意見は次の通り】

一 『NEWS 23』

- * 「世界陸上」を放送するために6日間も「NEWS 23」を休んだのは理解ができない。リニューアルして間もない時期でもあるし、毎日世界でいろいろなことが起きているのに、よる11時台のニュース番組が休みとは、非常に疑問が残った。

— 『報道特集』

* 病気の家族の世話や介護を担っている18歳未満の子ども「ヤングケアラー」の特集は、全く知らなかった問題だったので身乗り出して見た。ヤングケアラーや元ヤングケアラーの若者たちの率直で貴重な発言を拾い上げていて、すごく良質なドキュメンタリーだと思った。

* 「変わる弔いの形」という墓じまいの特集は、少子化などで墓が維持できない事例を取材し、ぐっと身につまされた。こういう報道は重要だと思った。

— 『世界遺産』

* 4K8K時代の理想的な番組だと思う。余計なものが一切ない。きれいな映像と静かなナレーションと静かな音楽、この三つだけで、とにかく映像の美しさだけで勝負できるクオリティーを保っているというのはなかなかすばらしいことだと思う。こういう番組が増えてほしいと思う。

— 『新・情報7days ニュースキャスター』

* 安住紳一郎さんの進行はすごく上手で、1週間の出来事を知るにはとても手ごろないい番組だと思うが、ビートたけしさんがちょっとしんどい。滑舌と話題提供の内容がすごく異質な感じがする。たけしさんは本当にここに必要なのかと感じる。

— 『がっちりマンデー！！』

* 放送を見ていろいろな人に話したくなる場所がいい。いつも楽しみにしている。

— 『ノーサイド・ゲーム』

* 家族がこのドラマを見て、ラグビーのルールが少しわかったので、ラグビーワールドカップを楽しんでいる。

—『わたし、定時で帰ります。』

*このドラマには、働き始めていろいろな悩みを持っている人には胸に迫るようなネタがいっぱいあって、女性が働き続けることとか、嫌な上司とか、相手先とかの描き方が、結構リアルだった。働き方改革に悩まされているなか、こういう共感を得られるドラマはいいなと思う。

—『名医のTHE太鼓判！』

*出演している医師たちについての情報がなく、どこの病院のどういう方なのかを知りたいと思った。釈由美子さんがゲストの回で、食後に背中が痛くなるという話で、恐ろしい急性すい炎のおそれがあるとなるが、「大変だ」だけで終わったのは消化不良に感じた。

—『メイドインジャパン』

*いわゆる良識のあるジャーナリズムが批判する「日本すごい番組」みたいなところがありつつ、必ずしもそれを前面に出さない感じで外国人の物語にしているというところで、その微妙なところをねらっているのはわかるが、私が見た限りでも、シャワートイレが2回ぐらい出てきて、同じものが何度も出てくるのはそろそろ限界かなというような印象を持った。

—『この差って何ですか？』

*イラストを多用して、噛み砕いたナレーションで説明して、紙芝居のように感じた。番組自体が面白くわかりやすく作ってあるので、タレントによる面白コメントはいらなと思う。

—『マツコの知らない世界』

*総集編を見たが、ゲストによって面白さが違うなと思った。ものすごくマニアックなことを追求している人に対する、マツコ・デラックスさんの絡み方はさすがだと思った。

— 『ニンゲン観察バラエティモニタリング』

* 驚くところだけを面白がるのではなくて、旦那さんが奥さんを喜ばせようと思って頼んだといった、ちょっとほんわかするような物語があるところがよかった。また、いつも私はワイプは邪魔だと言っているが、この番組で、娘さんが大好きな小泉孝太郎さんがワイプに出てくるとテレビにしがみつくのを見て、あれは大事なもののなのだなと思った。

— 『消えた天才』

* 残念な理由で休止してしまっただが、この番組が大好きだった。消えた天才を見つけ出し、ドラマ仕立てにして見せ、しかも本人を引っ張り出して来るということをよくぞしていた。そこにそんな戦いがあったということに嘘はなく、ドキュメンタリーバラエティとして高レベルな内容だった。それだけにとっても残念。別の形なのか、再開なのかはわからないが、同じような切り口の番組が始まればと期待している。

以上